

アクティブ・ラーニング、共通講座(プロジェクト運営における目的について)が開催される

2017年7月19日(水)16時45分より、板橋校舎にてアクティブ・ラーニング共通講座第4回(プロジェクト運営における目的について)が開催された。今回は阿南大氏(東洋学園大学)を講師としてお招きし、南砺、登別、沖縄の各プログラムに参加する約20名が受講した。

共通講座では、これまで実践的なノウハウを伝えることを行ってきたが、今回は、付箋や模造紙を利用しながら実習形式にて、「何故、アクティブ・ラーニングを受講するのか」について改めて考える機会を提供頂いた。本アクティブ・ラーニングは参加しても単位にはならないが、それでも「参加して学ぼう」という気持ちを整理し、確認する場ともなった。

講座では阿南氏の指導の下で、①アクティブ・ラーニングのプロジェクトに参加するにあたって自分の、やりたいことを思いつくまま25個付箋にはる → ②それをグループ分けして纏める言葉を考える → ③その言葉をキーとして、そこから派生する他の目標を探す → ④最後に目標の中から最も重要と思うものをピックアップする、という流れで進められていった。これまでには無かったユニークな展開に、受講生は楽しみながら取り組んでいた。それにより、あるプロジェクトを主体的かつ効率的に運営することについて、2人一組で実習を行うことによる質問力の向上とともに、理解が深まったと思われる。

アクティブ・ラーニングに参加する皆さんの動機はそれぞれであるが、主体的に学ぶことがいかに楽しいのかということと、自らまたはチームの目標を見失わずに効果的に調査・企画することをこの機会に是非とも経験して欲しいものである。



説明をされる阿南氏



ワークに取り組んでいる様子



武田教授、藤井講師とも真剣に取り組む